

送水管理センターほか 伝送システム更新維持事業に係る審査判定結果

1 総括表

分類	評価項目		評価基準 (判定)	基礎点、 加算及び 減点	管理番号 1
基礎点				100 点	100 点
技術提案	No. 1	伝送システムの構成に関する提案		別紙評価 基準によ る	5 点
	No. 2	伝送システムの機能に関する提案			7 点
	No. 3	情報伝送設備の構成に関する提案			7 点
	No. 4	情報伝送設備の機能に関する提案			7 点
	No. 5	ネットワークの機能に関する提案			5 点
	No. 6	施工性（無線回線の切替計画）に関する提案			3.5 点
	No. 7	施工性（現場施工）に関する提案	施工		5 点
	No. 8		品質管理		3 点
	No. 9	維持管理計画に関する提案			4 点
	No. 10	故障時対応に関する提案			3 点
施工実績	No. 11	優良な工事成績点の有無		有	0.3 点
	No. 12	工事成績点に係る減点		有	-1 点
	No. 13	配置予定技術者（監理技術者）の担当工事成績		有	0.2 点
		技術評価点 合計（最大）		150 点	130.1 点

2 個別結果

No.	評価項目	提案内容	評価基準の達成
1	本事業で構築する伝送システムの全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ・製造可能メーカーが限定されない <u>Fl-net 通信方式を採用</u>する。今回の更新事業で<u>既設 MGP 卓の台数分のポートを NW 収容盤に設ける</u>ことから、更新時のハードウェアの改修は不要になる。また、将来の監視制御設備の更新時において、新旧同時接続及び並行運用も可能であり、施工が容易になる。 	<p>【A:5点】</p> <p>情報伝送設備のハードウェア改修が不要である。</p>
2	伝送システムの応答速度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・接点 710ms(既設) ➡1403ms(提案) ・計測 3210ms(既設) ➡1893ms(提案) ・ON、OFF1450ms(既設) ➡2088ms(提案) ・設定値 3950ms(既設) ➡2578ms(提案) 	<p>【C:0点】</p> <p>各信号の既設の応答時間との比の平均値が1以上である。</p>
3	情報伝送設備の安全設計	<p>(安全設計)</p> <p>ア 安全設計</p> <p>(1) 設計図面の入力</p> <p>(2) ソフトウェア定義の作成</p> <p>(3) 手作業範囲の内容チェック</p> <p>(4) 改造前後の差分チェック</p> <p>イ 誤設定の検出</p> <p>(5) 不正データの検出</p> <p>(6) 誤設定の見える化</p>	<p>【A:7点】</p> <p>実現性及び有効性のある機能の個数が3個以上である。</p>
4	情報伝送設備のメンテナンス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・本システムは、信号同士が密接に関連する複雑な構成であり、職員で容易な設定が可能になれば、弊社と職員とで管理情報の不一致等から、誤った情報の上書き等のリスクが発生する。よって、安全安心なシステム継続のため、<u>容易な設定変更の提供は行わない</u>。 	<p>【C:0点】</p> <p>信号の追加及び削除、工学値等のパラメータ設定のどちらも不可能。</p>
5	ネットワークの機能	<ul style="list-style-type: none"> ・布施局から生駒山局間で通信異常が発生した場合の通信異常発生からネットワーク機器の経路再構築の完了までに要する時間 <u>1.6 秒</u> 	<p>【A:5点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要求水準書で示す、「通信異常発生から経路再構築の完了までに要する時間」は、既設(10 秒)より、短い。 ・提案事業者が1社のため、1位となる。

6	全施設の無線回線の切替工程	<ul style="list-style-type: none"> ・1ルートが停止する時間は、最長 15 時間。 <p>ただし、システムの停止時間が短く、更新期間中は容易に旧システムへの復旧が容易で、より安全な切替え計画を提案する。また、本提案による切替えは、施工費が安く、総合的に工事期間も短くなる提案である。</p>	<p>【D:0点】</p> <p>8時間以上の時間を要する。</p>
7	施工計画(施工)	<ul style="list-style-type: none"> ①鉄塔の増設が不要な配置 ②多重無線設備の新旧併行運用及び設備単位での更新 ③情報伝送装置の新旧切替えによる更新方法ほか 	<p>【A:5点】</p> <p>実現性及び有効性のある利点の数が3個以上提案されている。</p>
8	施工計画(品質管理)	<ul style="list-style-type: none"> ①オンライン会議システムの導入 ②品質管理基準の三階層チェック ③新設する情報伝送装置の模擬通信試験ほか 	<p>【B :3点】</p> <p>実現性及び有効性のある利点の数が3個以上提案されている。</p>
9	維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ・部品供給(代替部品含む)の可能な期間 <p>維持管理業務の開始から 11 年間(ネットワーク設備が最も供給期間が短い)</p>	<p>【B :2点】</p> <p>11年であり、10年以上～15年未満の評価。</p>
10	システム異常における復旧体制と故障時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・A 拠点において、多重無線設備、有線通信設備、情報伝送設備に対応できる技術員が 10 名以上在籍している。保守拠点から、送水管理センターまでの直線距離は 19kmである。 	<p>【A :3点】</p> <p>3設備の保守拠点から送水管理センターまでの距離の平均が 19km であり、50km 以内の評価。</p>
11	優良な工事成績点の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・有り(76点) <p>実績提出あり</p>	<p>【③ :0.1点】</p>
12	工事成績点に係る減点	—	—
13	配置予定技術者の担当工事成績の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・提出無し 	—